

# ベトナム 周産期医療サービスの日本との比較(1/4)

図表・13 ベトナム式と日本式周産期医療サービスの比較

項目	ベトナム式	日本式（葵鐘会方式）
健診回数	平均 1.4 回 月間 1 回が標準とされているが、健診が無いまま出産する事例もある (タイホア病院の標準は 3-4 回)	平均 18-19 回。 月間 4 回が標準 12 週までは 1,2 週間に 1 度。以後妊娠 6 ヶ月 (23 週) までは 4 週間に 1 回程度。妊娠 7~9 ヶ月は 2 週間に 1 回、妊娠 36 週以降は週に 1 回程度。
健診内容	固定情報 年齢 身長, 体重 結婚の状態	固定情報 年齢 身長, 体重 住居環境, 同居家族
健診内容	固定情報 年齢 身長, 体重 結婚の状態 本人	固定情報 年齢 身長, 体重 住居環境, 同居家族 結婚の状態 本人, 夫の職業 経済状態 習慣, 酒, タバコ, 常用薬物 スポーツ 里帰り分娩

## ベトナム 周産期医療サービスの日本との比較(2/4)

	<p>既往歴・合併症 高血圧, STD など感染症</p> <p>既往妊娠・分娩歴</p> <p>健診項目 毎回：血圧、体重、尿検、腹囲、子宮底、胎児心音（ドップラー法） 全期間：血液検査 1回 超音波診断 3回</p>	<p>家族歴・遺伝的素因 高血圧, 糖尿病, 結核, がん, 血液疾患, 精神病, 先天異常, その他</p> <p>既往歴・合併症 心疾患, 糖尿病, 腎炎, 高血圧, 喘息, 風疹, STD など感染症, 手術, アレルギー（特に薬剤アレルギーの有無）, 血栓性素因, その他</p> <p>婦人科疾患の既往歴・合併症 不妊, 卵巣機能不全, 子宮筋腫, 卵巣嚢腫, 胎状奇胎, その他</p> <p>月経歴, 既往妊娠・分娩歴 今回の妊娠経過における現症・主訴</p> <p>健診項目 毎回：血圧、体重、尿検、超音波診断（胎児計測他）、 血液検査 4回 膣分泌物培養検査（GBS 他） 分娩監視装置による胎児管理 36週から健診ごと 医師、助産師による手厚い医学的指導、保健指導 産後の子育て、母乳指導</p>
--	--	--

## ベトナム 周産期医療サービスの日本との比較(3/4)

医療機器	<p>分娩監視装置 Huntleigh HEALTHCARE (BD4000XS-2)</p> <p>BISTOS 社 (BT-300) 旧型で取扱い分娩数に比べ圧倒的に台数が少ない</p> <p>超音波診断装置 VOLUSON730 (GEU70 V730Pro) 私立病院等に導入されている場合もあるが、旧型のものが多い</p>	<p>分娩監視装置 アトムメディカル株式会社 (FM-20) 視認性に優れ、各警報機能が多数あるため、安全性が従来の製品よりも向上している</p> <p>超音波診断装置 東芝メディカルシステムズ株式会社 (Aplio) 新画像エンジン・High Density Beamformingにより高画質で鮮明な画像を提供することができる。それにより、診断に有用な画像を提供が可能。計測に関しては高精細な画像により、正確な計測を可能にした。また、Touch Command Screenを有しており、超音波検査をより簡潔に行うことを可能にしている。この機能は産科計測やコメント入力の際に非常に有用な機能であり、今までの装置に比べ、検査時間短縮することを可能にした。</p>
入院日数	1泊2日が標準。日帰りもタイホア病院では3泊4日程度	日本式は5泊6日を標準とする(帝王切開除く)

## ベトナム 周産期医療サービスの日本との比較(4/4)

栄養指導	特に行われませんが、体重は増加したほうが良いとの考え方が一部に浸透している	妊婦への栄養指導 妊娠中の適正体重の管理方法 新生児の栄養管理方法 (母乳育児の推進と人工乳の適正使用)
運動指導	特に行われない	マタニティヨガ教室を開催。1週間に1-2度程度で、1回1時間
保健指導	特に行われない	(葵鐘会では助産師外来 3回、母親教室 2回、両親教室 1回、母乳育児教室 1回、産後母乳育児相談を行っている) *産後母乳育児相談は今回提供していない
新生児管理	生後入院中の体重測定、バイタルサイン測定、哺乳状態の観察等行われていない。 黄疸を目視で判断	小児科医師による診察管理が行われている 入院中毎日体重測定、黄疸測定、バイタルサイン測定、哺乳状態観察記録等
価格	通常の出産で 20,000 円～30,000 円。健診の料金および個室ベッド料金は別途必要	上記の検健診、個室ベッド料金込みで通常 50 万円～55 万円
入院施設	8 人部屋などが標準であり、個室利用の場合は別料金となる	標準として個室の提供が多い(葵鐘会では 100%)

(ベトナム式のデータは、財団法人日本公衆衛生協会「世界の公衆衛生体系」、statistical yearbook of Vietnam2012 より引用。およびタイホア病院より聞き取り)